

家庭・地域と共に伸びゆく岡本っ子

越前市岡本小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	6回(のべ)日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	30人
授業ボランティア(含:低ボラ)	110人
登下校支援ボランティア	1000人
その他(和紙作り指導者)	80人

(3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

ふるさとの伝統産業「和紙づくり」を通して育む豊かな心の育成

岡本校下の五箇地区は、「越前和紙の里」として有名で、和紙作りに関わっている家庭が多い。学校には、「紙漉き室」があり、毎年全校児童がPTAの紙漉き部の方々の指導により、各学年に応じた、次のような紙漉きを行っている。

- 1年生 ざる漉き
- 2・3年生 はがき漉き
- 4年生 表紙漉き
- 5年生 流し漉き
- 6年生 共同絵漉き

漉いた和紙をお面に仕上げたり、絵手紙や文集に利用したり、詩を書いたりして大事に残している。

特に6年生が作成する「絵漉き」は、グループ毎に思い出に残る場面を紙漉きによる絵で表した物で、校内に掲示したり屏風に仕上げたりして、卒業の記念として大事に展示・保管している。

また、6年生は「卒業証書」を各自が漉いている。その原料となる「楮」を5年生から育て、楮の芽かき作業、黒皮はぎ作業など岡本小学校の児童でなければ体験することのできない貴重な活動になっている。昨年は、新たに「和紙と果実の森」を整備して、よりたくさんの和紙の原料を育てている。

茶道クラブによる卒業茶会
(作った屏風を使用しています。)



思い出を共同絵漉きの作品に漉く



成果と課題

1年生から「紙漉き」に関したいろいろな体験や学習を積み重ね、6年生で「共同絵漉き」による卒業制作を行っている。また、従来からの多数の作品を屏風に仕立て、いろいろな時に展示・使用している。放課後活動の「茶道クラブ」では、和室に立てられた屏風の空間で「卒業記念茶会」が行われた。みんなでふるさとの伝統の豊かさを感じている。